

平成 27 年度建設工学研究奨励賞を受賞しました(2016/6/6)

テーマ：建設工学

場所：ホテルモントレ仙台（宮城県仙台市青葉区）

平成 28 年 6 月 6 日 18 時から平成 27 年度建設工学研究奨励賞の表彰式が開催されました。今回は、一般財団法人 建設工学研究振興会の学術研究助成選考委員会によって 4 人の授賞者が決定され、災害科学国際研究所のサッパシー アナワット准教授（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）が「2011 年東北地方太平洋沖地震津波による被害関数の提案—東北から世界津波モデルへ」の研究題目で受賞しました。津波被害関数は、想定津波の数値計算結果と統合して浸水域内の建物被害棟数等を推計する用途（被害想定用途）、復興計画におけるリスク評価に基づいた土地利用計画策定（または建築制限域の設定）、歴史資料や古文書に記載されている被害情報から当時の津波外力を逆推定する用途（津波規模推定用途）に貢献できることが、当財団の学術研究助成選考委員会より高く評価されました。他の受賞者の研究題目は液状化、交通流制御、下水処理工程です。



文責：サッパシー アナワット（災害リスク研究部門）